

『MS-map in Hokkaido Univ. 作成プロジェクト2017』 第2回 質量分析ユーザーズミーティング 実施報告

プロジェクトメンバー：岡 征子（創成研究機構 グローバルファシリティセンター）コーディネーター
広瀬 知弘（創成研究機構 グローバルファシリティセンター）コーディネーター
高田 祐輔（農学部 GC-MS・NMR測定室）コーディネーター
木村 悟（工学研究院 工作系技術センター技術部）
栗城 夢実（工学研究院 工作系技術センター技術部）

平成30年3月16日（金）

北海道大学 創成科学研究棟 大会議室において『機器分析・工作技術交流会』を開催いたしました。質量分析ユーザーズミーティングは、昨年度に引き続き活動する『MS-map in Hokkaido Univ. 作成プロジェクト』のメンバーが企画運営を行ったものです。

『MS-map in Hokkaido Univ. 作成プロジェクト2017』の活動趣旨説明に始まり、MS-map のWEB公開状況説明、今後の展望、研究者目線のみた質量分析との関わり事例紹介へと続いた第一部では、技術職員・研究者・学生の皆様が“質量分析”というキーワードでつながる第一歩を踏み出しました。また、第2部ではブルカー・ジャパン株式会社に協力いただき、最先端の質量分析技術を学んだほか、第3部の技術交流会では新たな技術職員ネットワーク構築を行いました。

次年度以降は、質量分析装置を保有する研究者の皆様のところへ取材訪問し、MS-mapをより研究者支援ツールとして意義あるものにブラッシュアップしていく予定との事です。



技術交流会（対象：技術職員） 参加者：学内（9名）、学外（1名）

コーディネーター含む

セミナー（対象：技術職員および学内外の研究者・技術者・学生）

参加者：学内（16名）、学外（1名）

コーディネーター含む

先端・大型研究設備共用に関する「機器分析・工作技術交流会」は、名称を少しずつ変えながら継続され、今回で5年目を迎えます。「北海道内の機器分析を主たる業務とする技術職員を対象にした技術交流会」であるとともに、「技術職員自身がコーディネーターとして活動する会」であることが特徴となっています。GFCでは企画実施にあたって講師召集費・実習にかかる消耗品費等の補助を行うほか、運営サポートをさせていただいております。

https://www.gfc.hokudai.ac.jp/ts_kikaku/two_column/MSmap.html